

ゲノム編集 **を** 考える



嫌いな人を好きにはなれませんが
病気は治せるかもしれません

2016年11月5日(土) 13:30~15:30 (開場予定13:00)

日本科学未来館 7F イノベーションホール
東京都江東区青海2-3-6

登壇者 金田 安史 (大阪大学)、瀬川 茂子 (朝日新聞)
濡木 理 (東京大学)、三成 寿作 (大阪大学)

モデレータ 菱山 豊 (AMED)



近年急速に発展しているゲノム編集技術。狙った場所を正確に改変できることから、遺伝子治療、創薬、育種等への応用が期待されている一方で、ヒトの受精卵の遺伝子操作への懸念や環境への影響など倫理的・法的・社会的な課題も指摘されています。日本医療研究開発機構(AMED)は、この技術の研究や活用を支援する立場から、ゲノム編集の研究者、医学研究者、倫理学の専門家、有識者をお招きしてパネルディスカッションを開催し、ゲノム編集技術と社会との関係について議論します。

お問合せ先

サイエンスアゴラAMEDセッション事務局
Tel:03-6424-4005 Fax:03-5711-1123
e-mail:amed_agora@ftec-inc.jp

定員:150名 一般対象・参加費無料・お申込先着順

お申込はこちら

https://ssl.alpha-prm.jp/ftec-inc.jp/amed_agora/form/contact1.php

